

# 3つの力

イルファー釧路のメンバーとして、2度ほどケニア無料医療ボランティアに参加した大坪と申します。以前は、命を守る側でしたが、現在は家業（葬祭業）を継ぎ、お迎えする側になりました。どうも私は「生き死に」に関する仕事から離れない運命にあるようです（笑）。

さて、現在新米社長4年目になりましたが、最近読んだ本に、経営には「つくる力」、「つながる力」、「もちこたえる力」の「3つの力」が必要であり、「経営は人づくりである」とありました。まさに、イルファー釧路の活動は、多くの方々の協力を得ながら、この「3つの力」によって現在に至っていると思います。

「つながる力」で多くの皆様と繋がり、継続することで次世代の「人財育成」に繋がる組織として今後も活動されることを、心から切に願います。



美唄公益社 代表取締役社長  
大坪誠治

イルファー釧路・私の勤務する釧路労災病院では、毎年10月に開催の「釧路市健康まつり」の協賛として「HIV検査会」を開催して、以前は、幅広い年齢層に検査を実施していました。しかし、ここ数年「なんか変？」と違和感を抱いておりました。健康まつり来場者の高年齢化、また、来場者ポイントのみを収集する方が多くなり、本来の目的「若年層に正しい知識、検査の必要性・大切さを啓発する」検査会の目的達成が難しくなっていくことを感じておりました。

その認識は代表も同じで「一度、若者が集まる“まつり”でやってみよう」この決断で、開催趣旨に賛同してくれた保健所、健康推進課、観光協会、そしてイルファー釧路、労災病院が動き出し、平成30年9月8日「釧路大漁どんぱくDE HIV検査会」が誕生しました。

ただ、祭りで医療検査会を開催すること自体初めてで、来場者への周知など悩んでいた時、「イル活（7月開催合宿型勉強会）」の中で看護学生さんたちが周知方法を考え、そして当日の会場ボランティアとして名乗りをあげてくれ、いよいよ！という矢先、9月6日胆振東部地震が発生、どんぱくが延期となり、検査会は都合がつかず苦渋の決断で中止となりました。

前年度、広報が不十分ということもあり釧路市の協力により各学校へ検査会リーフレットを配布、いつも手作りの検

## HIV検査会



釧路労災病院 事務 及川 修一

おすすめの本



**森のうた**  
岩城宏之著  
朝日文庫

絶版になる前に読みたい  
愛のフィクション  
**『森のうた』**

岩城宏之著  
朝日文庫

文庫版は1990年に発行されています。  
日本を代表する名指揮者、山本直純氏と岩城宏之氏をご存じですか？彼らが東京芸術大学の先輩と後輩だった事は？上野の森で出会った彼らは、バンカラでおセンチな青春と共に過ごします。  
お互いを失いたくないから、お金の貸し借りは止めよう！と取つ組み合いのケンカを始める彼ら、何て愛おしい。素敵なお話です。

査会ポスターをプロに依頼し、検査会の目的、まつり開催への熱い想いを伝え、そしてキャッチコピー「花火に誘えたら恋だと思う。検査に誘えたら愛だと思う。」のポスターが完成。ポスター効果は絶大で、広く検査会を知って頂くきっかけにもなりました。

満を持して令和元年開催した検査会は、どんぱく来場者に対して丁寧な看護学生ボランティアの説明により検査を受けた方、ポスターを見て興味を持った方たちなど44名の検査を実施。

本来の目的に戻ったことを実感し、次の構想が広がる中、令和2年度はコロナ禍においてどんぱくの中止、また、今年のどんぱく開催も不透明なため、検査会は中止せざるを得ないかと思います。が、来年は、「検査受けて、肩を寄せ合い花火を見られる日が必ず来ることを信じて」すでに準備をはじめています。

みなさまの  
ご協力をお願  
いいたします。

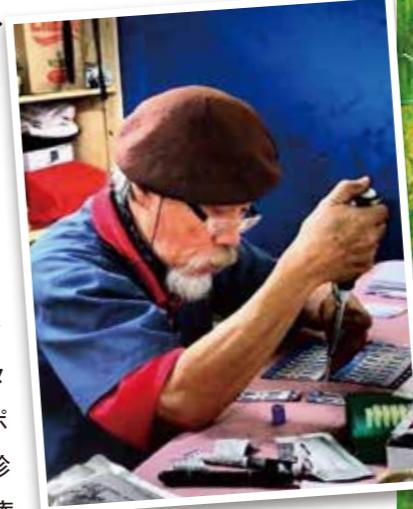


## ～稻田青年の夢につながる力～

昨年の師走講演会で驚愕した。

稻田先生は講演で、

2000年から開始したナイロビ、ブムワニ地区（介入当初は25%以上のHIV陽性率）でのHIV陽性者拾い上げとフォローアップ、治療コンサルタントとそれらのサポートとしての無料診療所による現地診療活動継続により、WHOが提唱する90-90-90（住民の90%以上が自分のHIVステータスを知り、HIV陽性者の90%以上がHIV治療薬へのアクセスがあり、HIV治療者の90%以上がそのウイルス量を感度以下に押さえることに成功する）が、ブムワニ地区ではほぼ達成されました。しかしケニア西部ではHIV陽性率がまだ高く、ビクトリア湖に面するミゴリ郡は、HIV陽性率はケニアの郡のなかでも、5位に入るくらいに高い。我々はナイロビでの過去20年間で得た知識と経験を生か



## 西部開拓物語

し、新たなフィールドワークの場所としてミゴリ郡を選定することにしました。稻田青年、次の10年は西部で頑張ります！」と電撃発表。

宮城島代表は知っていたことだが、僕のように初めて聞いた人には驚きと動搖が走った。イルファー釧路の主要メンバーも還暦を向かえて、いつまでこの活動が続くかなと考えていたが、大将が行くとなれば従うのみ。こちらも腹を越えるしかない。じつとX玉を握りしめた。イルファー釧路のかつてのメンバーも全国各地に散らばっているが、「いざ鎌倉」の用意は出来ている。



あんずの種 院長 須藤隆昭

普段あまり感情を表に出さない代表・宮城島が師走講演会後に涙を流した。ほとんど活動の出来なかった年の最後に3元ハイブリッドバージョンが大成功に終わった安堵からなのだろう。イルファー釧路が20年近く活動が出来ているのもこの男の熱い思いにほだされた人が僕を含め何人もいるからだ。

コロナが流行していることもある。

ハイブリッド講演会なら世界中とコラボ講演会

が出来ることがわかった。たぶん今年の12月12日の師走講演会もそうなるだろう。僕はいつもより時間があり、イルファーのことでも登場する「旅する鍼灸院」という本を発行することも出来た。今回の通信もカラー16ページで倍のボリュームになり、多くの人からの原稿も集まった。これからも出来ることを探してやるだけだ。あとたった10年くらいね（笑）



あんずの種 院長 須藤隆昭



「はりきゅう 北緯 -ホクラク-」  
札幌市中央区南15条西8丁目1-12  
M PLUS YAMAHANA 205号  
電話090-3773-6723

こんなときは「大丈夫な場所で、マスク外して深呼吸」がおすすめ。自分ひとりの時にはちょっとマスクを外して、外の空気を気持ちよく吸って少し長めに吐く。景色や空を眺めながらもいいでしょう。深呼吸は体と心を「一旦リセット」してくれます。マスク生活うまく付き合っていくことも、いまをラクに生きるヒントになると思います。

「マスク生活」  
日常的に着けるようになったマスクの負担は大きく、アゴや側頭部などを緊張させ頭痛や肩こりの原因ともなります。感染不安や外出自粛などによる「精神的な息苦しさ」も相まって、息苦しさを訴えて鍼灸治療を求める方が増えています。（特に自分の治療院は呼吸法も行うので、このような訴えの方が多いです）  
新型コロナウイルス蔓延と共にはじめた「マスク生活」は、はりきゅう「北洛」原田 大祐  
リレー  
エッセイ  
IL FAR  
KUSHIRO  
はりきゅう「北洛」原田 大祐  
「マスク生活」  
深呼吸でからだとこころを  
『一日リセット』